

【24年度の繰越明許費の
設定】地場産材活用住宅
供給促進事業費やソフト
ボール場整備事業費は、
関係団体との検討や協議
で執行がとれた。再生
可能エネルギー関係は、
太陽光パネル等の需要増
加による納品のおくれが
理由である。今後は、年
度内の完成に努める。

【土地売却収入】市有地
7カ所の売却を実施し、
2カ所が落札された。
【道の駅整備構想推進費】
イオンの出店状況等によ
り基本計画の策定期が

はつきりせず、調査を見
送った。今後の状況により、
道の駅構想をどう進める
か検討して判断したい。

【国の補正予算による予
算対応】国から県を通し
て公共事業等の該当事業
が示され、25年度事業の
前倒しのほか新規事業も
取り上げた。

【地域振興基金条例の一部
改正】これまででは利息を
活用してきたが、基金を
取り崩し、地域振興のた
めの新たな事業等の財源
として活用する。ソフト
事業を中心に充当し、極

【能代市在宅障害者支援
施設条例の一部改正】障
害者自立支援法の障害者
の日常生活及び社会生活
を総合的に支援するため
の法律への改正に伴い、事
業の対象となる障がい者
の範囲を拡大し、130
疾患の難病に該当する方
も対象になる。なお、難
病患者が新たに事業対象
者として認定され、サー
ビスを受けるまでの流れ
は、これまでの3障がいの
方々の認定までの流れと
同様である。

【特別支援教育事業の概
要】県が行なっている事
業が26年度に終了するた
め、25年度から市が単独
で5歳児親子相談を実施
し、特別な支援を要す
る子供やその保護者の相
談活動等を行うものであ
る。また新たに設置する
（仮称）能代市特別支援
連絡協議会において、5
歳児親子相談及び就学時
健康診断後の精密検査の
実施や新たに設置する特
別支援教育アドバイザー
の活用について検討する
こととしている。

【文化会館等大規模改修
事業】文化会館・中央公
民館の全てのトイレを改
修する。大便器の洋式割
合をふやし、便器の洗浄
機能、臭気対策の改善を
図るとともに、床、壁な
どの全面改修を行う。ま
た、工事時期及び期間に
ついては利用者団体と協
議するとともに、女子用、
幼児用についても十分に
検討したい。（伊藤）

文教民生
委員会

総務企画
委員会

委員会審査報告



建設委員会

建設
委員会

環境産業
委員会

端に大きな取り崩しにな
らないと考えているほか、
将来的な財政状況も考慮
し活用を検討したい。

【ごみの処理量】事業系、
家庭系合わせて平成21年
度が2万1851トン、22
年度が2万1615トン、
23年度が2万1205ト
ンと少しずつ減少してい
るが、事業系のごみは横
ばいで推移しており、今
後は、事業所に資源化に
向けて努力していくよう
働きかけていく。

【あきたを元気に！農業
補助金】24年度に大型事業
が終了したため、25年度
予算が大きく減少してい
るが、前年度に各地域の
要望を取りまとめたもの
を予算計上している。本
事業は名称が変わりなが
ら長く続いているもので、
認定農業者等には周知さ
れているが、今後、新規
就農者に対してもさらに
周知に努めたい。

【大館能代空港利用促進
事業】25年4月1日から、
これまで大人片道につき
5千円であった助成額を
3千円に改めるほか、新
たにバック商品としてA
NAシテイプラン等を助
成対象に加えることにし
た。（渡辺）

【東能代地区水道布設工
事費の減額理由】同工事
は計画当初から下水道敷
設工事との同時施工を予
定していたが、下水道事
業への国の交付金が減額
され、一部区間の下水道
工事が次年度以降に延期
されたため、同工事も同
様に延期した。

【除雪重機の各オペレー
ターへの統一した対応の
指導】23年度の状況を踏
まえ、24年度では委託
業者に前年度の市民から
の苦情の内容を伝えなが
ら、除雪の仕方に差が出
ないよう、また丁寧な除
雪を心がけるよう指導し
ている。

【東能代新田線の今冬の
防雪柵の状況】防雪柵
は気象条件や土地の形状
で効果が大きく異なるた
め、その変更、改修には
コンサルによる調査が必
要である。また土地所有
者の意思もあるので、そ
れらを確認の上、対応を
検討していきたい。